

## 夏秋ピーマンの育苗日数と移植鉢の大きさについて

岩館 信三・高橋 慶一

(岩手県園芸試験場)

Effects of Size of Pot and Period of Raising Seedling on Growth and Yield in Sweet Pepper for Summer and Autumn Crop

Shinzo IWADATE and Keiichi TAKAHASHI

(Iwate Horticultural Experiment Station)

### 1 はし が き

最近、岩手県下では夏秋ピーマンの栽培が急速に増加している。県下の夏秋ピーマンの主産地における各農家の育苗法の実態をみると、一般に、用土の関係から小さいポットを使用しているうえに、育苗日数が長く、このことが収量に影響している。

そこで、夏秋ピーマンの適切な育苗法を確立するために、昭和52, 53年の2か年にわたり、育苗日数と移植鉢の大きさが収量に及ぼす影響について検討した。その結果を報告する。

### 2 試 験 方 法

(1) 昭和52年の試験 ① 供試品種：“長岡交配ニューエース”を使用した。② 育苗日数と移植鉢の大きさ：表1に示す。7.5~15cm鉢による70日，9~15cm鉢による90日育苗とした。

表1 試験条件(昭和52年)

育苗日数	鉢の大きさ	は種期	鉢あげ期	鉢の床土量(cc)
75日	7.5 cm	3月14日	4月12日	200 cc
	9 "	"	"	310 "
	12 "	"	"	730 "
	15 "	"	"	1,500 "
90日	9 cm	3月1日	3月27日	310 cc
	12 "	"	"	730 "
	15 "	"	"	1,500 "

(2) 昭和53年の試験 ① 供試品種：“長岡交配エース”を使用した。② 移植鉢および仮植後の移植鉢の大きさ：表2に示す。育苗日数は75日とした。

供試面積(本畑)は1区，4.05㎡の2区制とした。

床土は原土1㎡当たり アヅミン入UF複合肥料7kg，くん炭2.5%混合，移植にはポリ鉢を使用した。

本畑の栽植距離はうね幅90cm，株間45cmとし，黒色ポリフィルムでマルチングした。整枝は放任とした。

施肥量(kg/a)：基肥，たい肥；300，炭カル12，N-1.5，P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-2.3，K<sub>2</sub>O-19.2，追肥；N-19.2，P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-4.8，K<sub>2</sub>O-19.2。

表2 試験条件(昭和53年)

育苗日数	鉢の大きさ	は種期	仮植期(平床)	鉢あげ期	鉢の床土量(cc)
75日	9 cm	3月16日		4月7日	310 cc
	12 "	"		"	730 "
	15 "	"		"	1,500 "
	9 cm	3月16日	4月7日	4月27日	310 cc
	12 "	"	"	"	730 "

### 3 試 験 結 果 お よ び 考 察

育苗中の生育は、いずれの育苗日数とも鉢が大きいほど生育が勝り、同じ大きさの鉢の間では育苗日数の短い75日育苗が勝った。また、苗の葉色は育苗日数の長いものほど、また、鉢の小さいものほど劣る傾向がみられた。平床に20日間仮植後、移植鉢に移植した区については大きさの同じ鉢の間では、生育に差がなかったが、葉色は濃緑であった。

表3 生 育 (昭和52年)

項目 育苗日数 鉢の大きさ	5月26日					6月14日				
	草丈 (cm)	葉数 (枚)	最大葉 (cm)		葉色	草丈 (cm)	葉数 (枚)	最大葉 (cm)		
			タテ	ヨコ				タテ	ヨコ	
75日	7.5cm	20.4	11.7	10.9	3.6	黄緑	24.1	30.0	12.2	4.6
	9 "	24.2	19.4	13.3	4.7	淡緑	28.9	31.0	15.6	5.8
	12 "	30.6	23.7	17.4	5.6	緑	32.4	47.5	17.8	6.0
	15 "	31.0	33.3	18.5	6.1	濃緑	36.3	57.0	20.0	6.9
90日	9cm	19.3	14.3	11.6	4.1	黄緑	21.2	28.5	12.5	4.8
	12 "	25.6	23.0	15.6	5.4	"	26.8	32.3	16.4	5.9
	15 "	29.3	32.8	18.4	6.2	淡緑	29.8	49.4	19.5	6.4

昭和52年の試験では、総収量(a当たりの良果数)は、15cm鉢75日育苗が12cm鉢75日育苗対比で112.7%と最も多く、次いで、15cm鉢90日育苗≒12cm鉢90日育苗>9cm鉢90日育苗>9cm鉢75日育苗>7.5cm鉢75日育苗の順となった。

時期別の収量については、7月末日までの時点では、15cm鉢75日育苗が、12cm鉢75日育苗に比べて、56.1%多かったが、その他の区は少なかった。8月以降の収量については、12cm鉢75日育苗に比べて、15cm鉢75日育苗は13.5%多く、15cm鉢90日育苗は同程度、他の区は5.4~17%の減収

となった。

昭和53年の試験では、尻ぐされ病およびタバコガの被害

による障害果の発生が多かったが、収量（a当たりの良果数）については、12cm鉢育苗に比べて、15cm鉢育苗は6.2%

表4 a当たり収量(昭和52年)

試験区	項目	良果		障害果数		合計果数	良果1ヶ平均重(g)	良果収量比		合計果収量比
		個数	重量(kg)	乱形果	尻ぐされ果			個数	重量	
75日	7.5cm	10,311	364	741	148	11,200	35.2	83.1	78.1	85.6
	9 "	11,423	438	827	173	12,423	38.8	92.0	93.9	94.9
	12 "	12,411	466	531	148	13,090	37.4	100	100	100
	15 "	13,990	495	518	198	14,706	35.1	112.7	106.2	112.3
90日	9cm	11,732	419	867	247	12,846	35.0	94.5	89.9	98.1
	12 "	11,238	446	1,173	198	12,609	38.6	90.1	95.7	96.3
	15 "	12,547	492	950	209	13,706	39.1	101.1	105.5	104.7

表5 a当たり収量(昭和53年)

試験区	項目	良果		障害果数	良果1ヶ平均重(g)	良果収量比		合計果収量比
		個数	重量(kg)			個数	重量	
	9cm鉢	13,313	434	828	32.6	86.5	86.3	86.5
	12 "	15,388	503	963	32.7	100	100	100
	15 "	16,314	493	1,087	30.2	106.2	98.0	106.4
	仮植後9cm鉢	14,462	467	1,087	32.3	94.0	92.8	95.1
	12 "	14,017	474	309	33.8	91.1	94.2	93.7

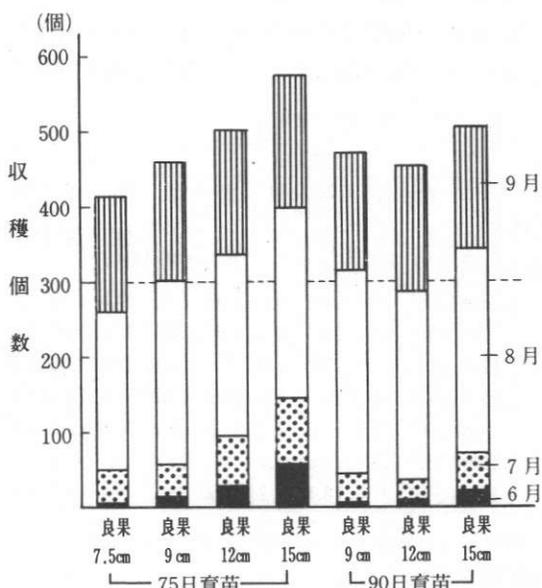


図1 時期別の良果収量(10株当たり, 昭52)

多く、9cm鉢育苗は13.5%減収となり、また、仮植後9cmおよび12cm鉢育苗は、6%、8.9%それぞれ減収となった。

時期別の収量では、12cm鉢育苗に比べ7月末日の時点で15cm鉢育苗が13%多く、9cm鉢育苗は40.6%も少なく、他区も13~18%の減収であった。

#### 4 まとめ

夏秋ピーマンの鉢育苗の場合、育苗日数は75日で苗質、初期および総収量とも勝った。鉢の大きさでは、苗質、初期および総収量とも15cm鉢育苗が最も勝り、ついで12cm鉢で、9cm、7.5cm鉢育苗は劣った。また、平床に20日間仮植した後鉢上げした区は、栄養的な面から移植回数が多い影響が現われ、苗質、収量とも劣る傾向がみられた。

以上、ピーマンの育苗日数は75日が適当で、鉢の大きさは15cm又は12cmが適当である。しかし、鉢当たりの床土量は15cm鉢(1,500CC)の場合には12cm鉢(730CC)の約2倍量を必要とするので、この点を考慮すると、12cm鉢のほうが実用性が高い。